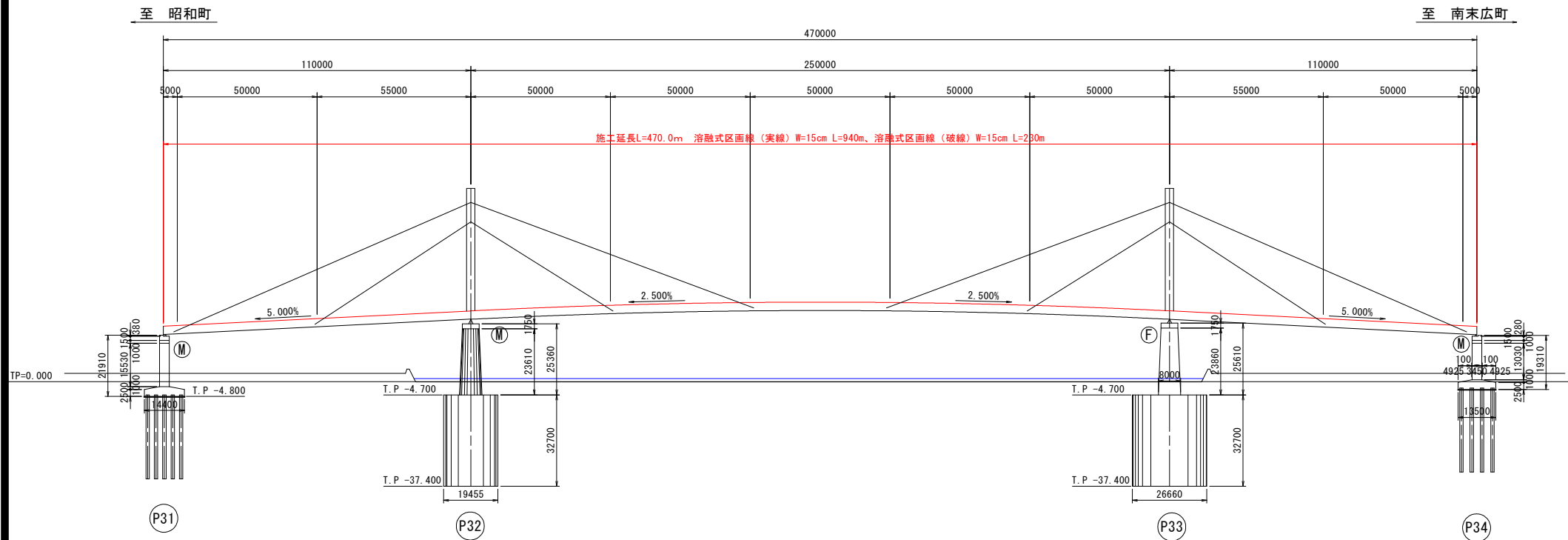
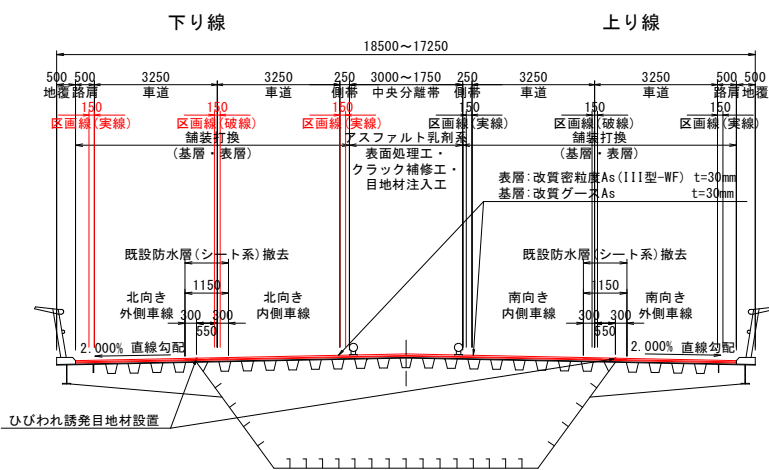


舗装修繕一般図 S=1:1000

側面図

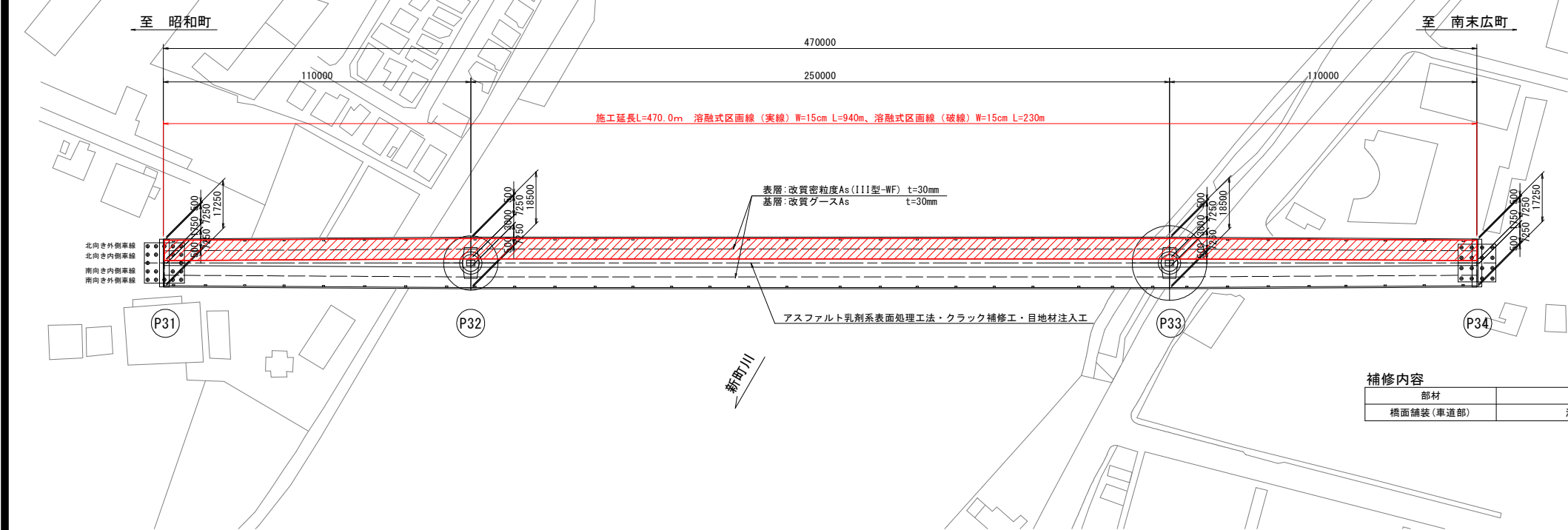


断面図 S=1:100



測 点	追 加 距 離	地 盤 高	計 画 高	勾 配
No. 72	440.000	0.000	19.800	

平面図



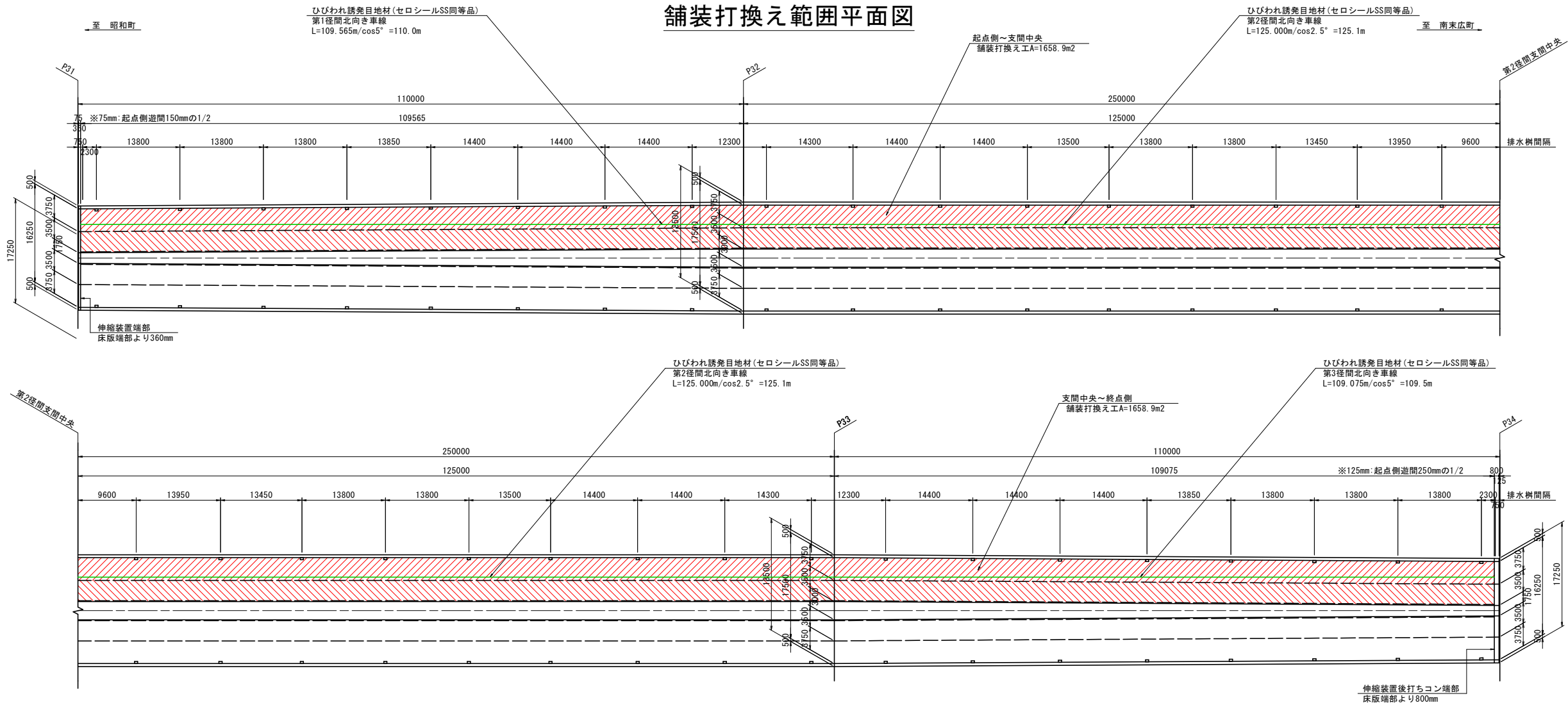
【橋梁諸元】		諸元
橋梁名称	末広大橋	
所在地	(自) 徳島県徳島市昭和町8丁目 (至) 徳島県徳島市南末広町2丁目	
路線名	主要地方道 徳島環状線	
管轄	徳島県東部県土整備局〈徳島〉	
橋長	470.000m (=110m+250m+110m)	
径間数	3径間	
幅員	全幅:17.25~18.50m、有効幅員:16.25~17.50m 地覆0.5m+車道7.25m+車道7.25m+地覆0.5m	
上部工形式	3径間連続鋼床版逆橋型箱桁斜張橋	
下部工形式	T型橋脚柱角型 (RC) 2基、T型橋脚柱円型 (RC) 2基	
基礎工形式	場所打杭、鋼管井筒基礎	
設計荷重	1等橋 (TL-20)	
適用示方書	1972年 (昭和47年) 道路橋示方書	
架設年度	1976年 (昭和51年5月)	
交差物件	一級河川吉野川水系 新町川	
緊急輸送路の指定	有	
補修・点検履歴 (初回点検以降)	2008年: 橋梁定期点検 2008年: 伸縮装置補修 2013年: 橋梁定期点検 2013年: 中央分離帯改良 2014年: 照明灯支柱亀裂補修 2018年: 橋梁定期点検 2020年: 伸縮装置補修工事 2023年: 南側ケーブル修繕工事 2024年: 北側ケーブル修繕工事 2025年: 橋梁定期点検 2025年: 伸縮装置補修工事	
使用材料	主桁	SMA50C, SMA50B, SMA50A, SMA41A, SM50B, SM41A, SS41
	対傾構・横リブ ブラケット	SMA41A, SS41
	端隔板	SMA50C, SMA50B, SMA50A, SMA41A, SM50C, SM50B, SM41A, SS41
	主塔	SMA50C, SMA50B, SMA50A, SMA41A, SM50C, SM50B, SM41A, SS41
	支承	SMA50C, SMA50B, S30C, SC46, 鋼合金, ScMn2A, SCW42 ※ 外気に触れる部分は耐候性鋼材
ケーブル	パラレルワイヤーストランドφ242mm (7+PWS169, 6+PWS127)	

【実施設計図面】

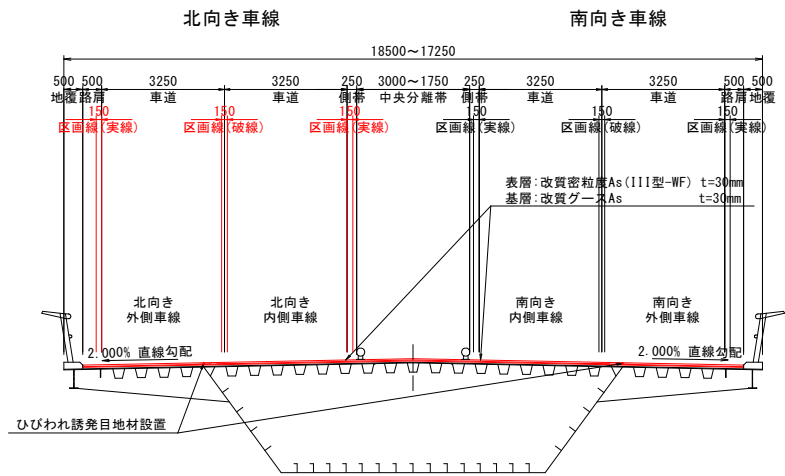
工事名	R 8 徳土 徳島環状線 (末広大橋) 徳・昭和～南末広 区画線工事		
路線名等	徳島環状線		
工事箇所	徳島市昭和町～南末広町 (末広大橋)		
図面名	舗装修繕一般図		
縮尺	1:1000	図面番号	1/2
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県土整備事務所		

補修内容				
部材	補修工法	単位	数量	備考
橋面舗装 (車道部)	溶融式区画線工	式	1	

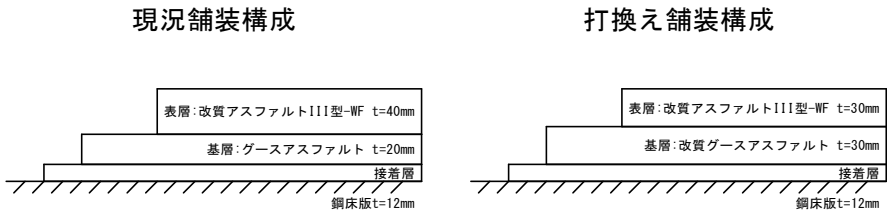
車道舗装修繕詳細図 S=1:400



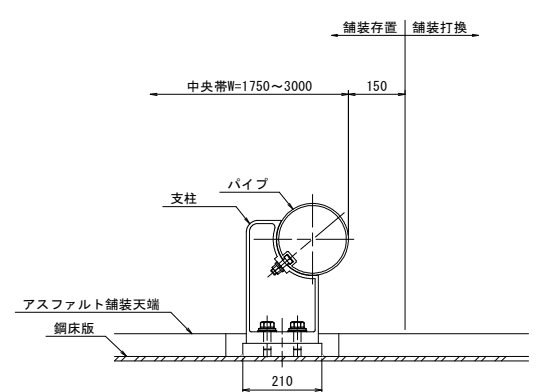
断面図 S=1:100



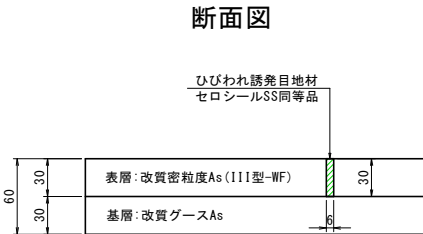
車道舗装打換え工



中央分離帯側打換境界図 S=1:10



誘発目地設置工 S=1:3



車道部舗装打換え工
施工フロー



- 【実施設計図面】
- 工事名 R8徳土 徳島環状線（末広大橋）
徳・昭和～南末広 区画線工事
- 路線名等 徳島環状線
- 工事箇所 徳島市昭和町～南末広町（末広大橋）
- 図面名 車道舗装修繕詳細図
- 縮尺 1:400 図面番号 2/2
- 年度 令和8年度
- 事業者名 徳島県土整備事務所
- 注記
- 伸縮装置及び後打ちコンクリートとの境界には、端部処理として橋軸直角方向にも成形目地材を設置すること。
 - 中央分離帯と車道の舗装打換え境界は、防護柵を撤去せずに施工可能な範囲とする。（ヒアリングにより150mmの離隔を設定）
 - ひびわれ誘発目地は主桁WEB直上の局所たわみ対策として設置する。本橋は幅員変化区間を有するが、主桁ウェブは直線配置であるため、配置の際には留意すること。
 - 誘発目地の設置は表層舗装後にカッター切断を行い、設置を行う手順となる。目地材は表層内への設置とし、基層を傷つけることのないよう、舗装の出来形に応じてカッターの刃を調整したうえ施工すること。